



平成29年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月13日  
上場取引所 東

上場会社名 JESCOホールディングス株式会社  
 コード番号 1434 URL <http://www.jesco.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼CEO (氏名) 松本 俊洋  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務経理室長 (氏名)二戸 慎也 (TEL) 03-5937-6151  
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第1四半期の連結業績(平成28年9月1日~平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第1四半期	1,321	△24.8	△29	—	△34	—	△28	—
28年8月期第1四半期	1,757	—	△38	—	△37	—	△50	—

(注) 包括利益 29年8月期第1四半期 △35 百万円 (—%) 28年8月期第1四半期 △69 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第1四半期	△4.53	—
28年8月期第1四半期	△8.42	—

(注) 1. 平成27年8月期第3四半期より連結財務諸表を開示しているため、平成28年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、平成28年8月期第1四半期及び平成29年8月期第1四半期は1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第1四半期	8,568	2,245	23.1
28年8月期	8,675	2,332	24.0

(参考) 自己資本 29年8月期第1四半期 1,979 百万円 28年8月期 2,080 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	0.00	—	8.00	8.00
29年8月期	—	—	—	—	—
29年8月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年8月期の連結業績予想(平成28年9月1日~平成29年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,132	△24.2	5	△93.6	△23	—	△18	—	△2.88
通期	9,500	12.9	500	82.9	450	64.5	300	21.0	48.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

除外 1社 (社名) JESCO TMC株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年8月期1Q	6,245,200株	28年8月期	6,241,100株
29年8月期1Q	—株	28年8月期	—株
29年8月期1Q	6,242,752株	28年8月期1Q	6,016,013株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①業績の状況

当第1四半期連結累計期間(平成28年9月1日～平成28年11月30日)におけるわが国経済は、雇用情勢が堅調に推移している中、2016年度の実質国内総生産の成長率は昨年度と同程度と予測されながらも、2017年度は個人消費の改善も期待でき、やや高まる見通しであります。海外は、中国景況感の減速があるもののOPECによる原油減産の合意による原油安の歯止めや米国経済の伸びが期待されるところであります。

このような経済環境の中、当社グループは、国内では引き続き、高速道路ETC設備工事や防災行政無線設備工事を中心に受注を進め、一方技術者のマルチエンジニアリング化による稼働の平準化を推し進めフレキシブルに対応しております。アセアンでは、技術者の人員増強に努め、日本からの設計積算業務を取込みながら、現地の事業を推進しております。

当社グループでは、通常の営業形態の中で、電気通信設備工事等の検収時期は、3月～8月に集中する傾向が強く、一方で販売費及び一般管理費の固定費は、ほぼ恒常的に発生するため、収益が偏重することがあります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高13億21百万円(前年同四半期比24.8%減)、営業損失29百万円(前年同四半期は営業損失38百万円)、経常損失34百万円(前年同四半期は経常損失37百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は28百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失50百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### a. 国内EPC事業

国内EPC事業においては、当社グループの強みである安全・技術・品質を基盤として、設計から保守まで一貫した提案活動を営業と工事が一体となり進めてまいりました。防災行政無線工事や次世代ETCレーンの整備工事、高速道路を中心とした各種付帯設備の工事など具体的に進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの業績は、売上高7億74百万円(前年同四半期比34.2%減)、セグメント損失56百万円(前年同四半期はセグメント損失20百万円)となりました。

#### b. アセアンEPC事業

アセアンEPC事業においては、ODA案件をはじめとした大型インフラ整備の事業に積極的に参画し、空港、鉄道、高速道路などのインフラプロジェクト受注に向けて活動しております。また、ODA案件以外の現地企業からの工場や高層マンションなどの大型案件に対応できる体制を整えております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの業績は、売上高3億48百万円(前年同四半期比10.1%減)、セグメント利益3百万円(同23.5%増)となりました。

#### c. 総合メディア事業

総合メディア事業においては、前期に続いて公営競技場・スポーツ施設等の広告媒体や案内板のデジタルサイネージや大型LEDビジョンの受注活動を常設設備やイベント向けのレンタルなどあらゆる形態で行っております。広告販売は、既存の取引先からの紹介など範囲を広げ、営業活動を推進しておりますが、その伸びは厳しいことが予測されます。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの業績は、売上高1億49百万円(前年同四半期比22.0%減)、セグメント利益5百万円(前年同四半期はセグメント損失7百万円)となりました。

#### d. 不動産事業

事業拡大が見込まれていました不動産事業は、前期取得したJESCO新中野ビル等により、セグメント利益の重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より報告セグメントとして記載しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの業績は、売上高49百万円、セグメント利益34百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は40億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億31百万円の減少となりました。これは未成工事支出金が2億82百万円の増加、受取手形・完成工事未収入金等が4億70百万円減少したことなどによるものです。当第1四半期連結会計期間末における固定資産は44億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円の増加となりました。これは有形固定資産が18百万円、投資その他の資産が8百万円増加したことなどによるものです。この結果、当第1四半期連結会計期間末における資産合計は85億68百万円となり、1億7百万円の減少となりました。

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は36億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円の増加となりました。これは未成工事受入金が2億27百万円増加、支払手形・工事未払金等が2億43百万円減少したことなどによるものです。当第1四半期連結会計期間末の固定負債は26億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円の減少となりました。これは長期借入金が43百万円減少したことなどによるものです。この結果、負債合計は63億22百万円となり20百万円の減少となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は22億45百万円となり、87百万円の減少となりました。これは利益剰余金が78百万円減少したことなどによるものです。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末の24.0%から当第1四半期連結会計期間末は23.1%になりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月期の連結業績予想につきましては、平成28年10月14日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の子会社が営む事業の内容に重要な変更はありません。  
また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

平成28年9月1日付で連結子会社であったJESCO TMC株式会社は、同じく連結子会社であるJESCO CNS株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、第1四半期連結累計期間より連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	895,490	981,210
受取手形・完成工事未収入金等	2,610,882	2,140,408
未成工事支出金	421,312	703,898
原材料及び貯蔵品	58,455	69,828
商品	49,921	49,921
繰延税金資産	34,699	34,699
その他	189,644	148,499
貸倒引当金	△55,703	△55,386
流動資産合計	4,204,702	4,073,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,810,698	1,827,908
減価償却累計額	△477,852	△492,964
建物及び構築物(純額)	1,332,845	1,334,944
機械装置及び運搬具	10,735	10,628
減価償却累計額	△9,153	△9,266
機械装置及び運搬具(純額)	1,582	1,361
土地	2,554,405	2,562,232
リース資産	199,754	199,739
減価償却累計額	△106,261	△114,477
リース資産(純額)	93,493	85,262
その他	397,216	408,304
減価償却累計額	△217,564	△211,358
その他(純額)	179,652	196,945
有形固定資産合計	4,161,978	4,180,746
無形固定資産		
のれん	16,816	16,010
その他	58,038	56,706
無形固定資産合計	74,855	72,716
投資その他の資産		
投資有価証券	48,872	51,996
繰延税金資産	67,083	67,083
その他	142,459	147,711
貸倒引当金	△27,421	△27,421
投資その他の資産合計	230,994	239,370
固定資産合計	4,467,827	4,492,833
繰延資産		
社債発行費	2,994	2,465
繰延資産合計	2,994	2,465
資産合計	8,675,525	8,568,379

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,625,505	1,382,315
短期借入金	1,127,170	1,149,904
1年内返済予定の長期借入金	175,416	175,499
リース債務	35,310	35,468
賞与引当金	51,286	22,235
未払法人税等	40,489	—
未成工事受入金	369,522	597,314
その他	184,794	272,433
流動負債合計	3,609,497	3,635,171
固定負債		
社債	468,000	468,000
長期借入金	1,556,388	1,512,482
リース債務	67,472	58,564
退職給付に係る負債	170,944	173,606
長期末払金	348,112	340,075
その他	122,196	134,686
固定負債合計	2,733,114	2,687,414
負債合計	6,342,612	6,322,586
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	914,244	914,695
資本剰余金	813,884	814,335
利益剰余金	425,502	347,286
株主資本合計	2,153,632	2,076,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,784	△2,271
為替換算調整勘定	△68,423	△94,272
その他の包括利益累計額合計	△73,207	△96,544
新株予約権	—	450
非支配株主持分	252,488	265,568
純資産合計	2,332,912	2,245,792
負債純資産合計	8,675,525	8,568,379



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)
売上高	1,757,112	1,321,748
売上原価	1,586,461	1,163,152
売上総利益	170,650	158,595
販売費及び一般管理費	208,891	187,985
営業損失(△)	△38,241	△29,389
営業外収益		
受取利息	319	551
受取配当金	1,998	340
為替差益	1,950	5,282
不動産賃貸収入	25,199	—
その他	5,596	4,741
営業外収益合計	35,065	10,916
営業外費用		
支払利息	14,299	9,977
不動産賃貸費用	9,393	—
新株予約権発行費	—	2,509
その他	10,606	3,147
営業外費用合計	34,298	15,634
経常損失(△)	△37,475	△34,108
税金等調整前当期純損失(△)	△37,475	△34,108
法人税等	3,122	△9,651
四半期純損失(△)	△40,597	△24,456
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,029	3,830
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△50,626	△28,287

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)
四半期純損失(△)	△40,597	△24,456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,866	2,513
為替換算調整勘定	△27,203	△13,420
その他の包括利益合計	△29,070	△10,907
四半期包括利益	△69,667	△35,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△74,916	△51,623
非支配株主に係る四半期包括利益	5,248	16,259

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年9月1日 至 平成27年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内EPC 事業	アセアン EPC事業	総合メディア 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,177,522	387,767	191,821	1,757,112	-	1,757,112	-	1,757,112
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,074	41,796	7,000	52,870	111,498	164,368	△164,368	-
計	1,181,596	429,564	198,821	1,809,982	111,498	1,921,480	△164,368	1,757,112
セグメント利益 又は損失(△)	△20,397	2,843	△7,995	△25,550	△28,980	△54,530	16,288	△38,241

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の損益であります。  
 2. 「調整額」の内容はセグメント間取引消去であり、営業損益間の消去156,841千円及び営業損益と営業外損益間の消去7,527千円であります。セグメント利益又は損失(△)16,288千円は、セグメント間の取引消去であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年9月1日 至 平成28年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内EPC 事業	アセアン EPC事業	総合メディア 事業	不動産事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	774,478	348,632	149,608	49,028	1,321,748	-	1,321,748	-	1,321,748
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	9,585	39,958	13,123	62,666	105,262	167,928	△167,928	-
計	774,478	358,217	189,566	62,151	1,384,414	105,262	1,489,676	△167,928	1,321,748
セグメント利益 又は損失(△)	△56,137	3,512	5,103	34,092	△13,428	△16,539	△29,967	577	△29,389

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であり、営業損益間の消去167,928千円及び営業損益と営業外損益間の消去577千円であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

不動産事業に係る収益及び費用について、前第4四半期連結累計期間より不動産事業に係る収益及び費用を営業損益としたことに伴い報告セグメントの「その他」としておりましたが、利益的な重要性が増したため当第1四半期連結累計期間より「不動産事業」として記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間においては、不動産事業に係る収益及び費用を営業外損益としているため、上記収益に関する情報には含まれておりません。